

2020年 2月13日
成田空港高速鉄道株式会社
京成電鉄株式会社

成田空港の利便性向上のために
空港第2ビル駅の改札口を改良します
出口改札：2020年2月16日（日）始発時より

成田空港高速鉄道株式会社（本社：東京都中央区、社長：井手 憲文）と京成電鉄株式会社（本社：千葉県市川市、社長：小林 敏也）は、空港第2ビル駅（千葉県成田市）の京成線側改札口で進めていた改良工事を完了し、2020年2月16日（日）より供用を開始します。

出口側の改札口について、これまで京成本線ご利用のお客様が駅から出場する場合、2度改札機を通過する経路となっていましたが、今回の改良により、1度の改札機通過で出場可能となります。

また、成田空港をご利用になる訪日外国人のお客様の増加を考慮し、混雑が著しかった入口改札口についても、発券カウンターの形状を変更し、券売機と改札機を増設しました。（2月6日（木）より供用開始済）

これにより、よりスムーズに駅をご利用いただけるようになります。

今後も成田空港高速鉄道と京成電鉄は、日本の空の玄関口・成田空港をご利用になるお客様の利便性向上に積極的に取り組んでまいります。

本件の詳細は次項の通りです。

空港第2ビル駅(京成線)の改札口改良工事 概要

1. 供用開始 出口改札:2020年2月16日(日)
入口改札:2020年2月6日(木) 供用開始済

2. 改良内容

(1) 出口側改札口

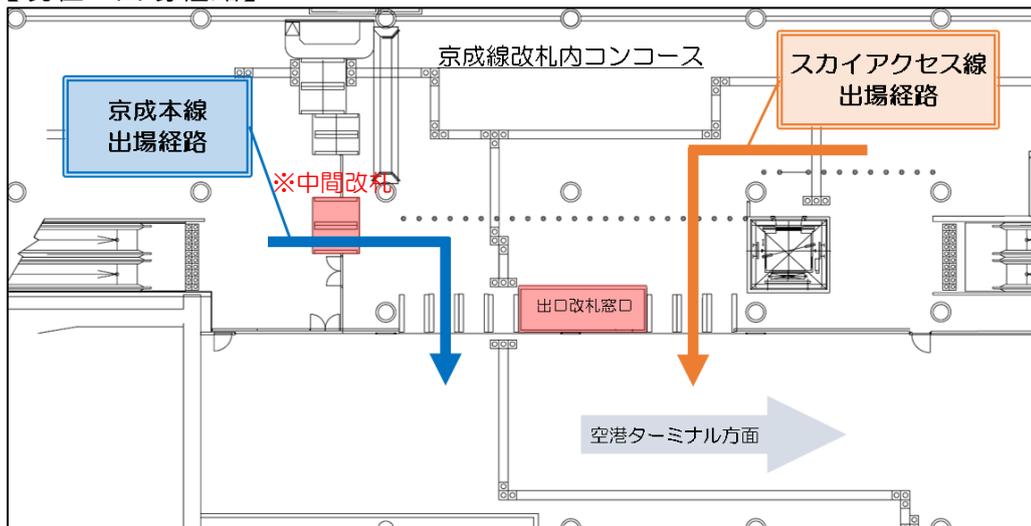
① 京成本線ご利用のお客様の経路変更

京成本線経由で乗車し、空港第2ビル駅から出場する場合、改札機を2度通過する経路となっておりますが、京成本線及びスカイアクセス線の出場経路を分離することで、1度の通過で出場可能になります。

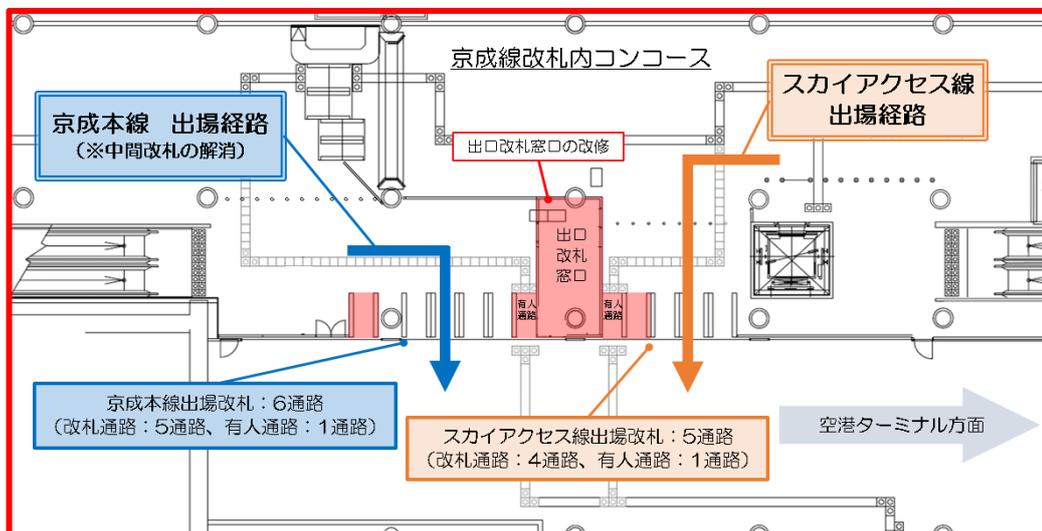
② 改札通路数の増

出口改札窓口の形状変更により、通路数を7通路から11通路に増設します。(京成本線:6通路、スカイアクセス線:5通路)※有人通路含む

【現在の出場経路】



【改修後の出場経路】



(2) 入口側改札口

① ライナーカウンター形状の改良

ライナーカウンター形状をL字型から直線型とし、お客様が並びやすく、かつ開いている窓口がわかりやすい形状としました。

(2019年9月18日(水)から供用開始済)

② 自動券売機の増設

スカイライナー券を購入可能な自動券売機2台を新設し、計5台に増設しました。

③ 改札通路数の増

改札付近の拡幅により、通路数を4通路から6通路に増設しました。



空港第2ビル駅 入口改札

3. 今後の空港第2ビル駅における改良工事について

現在、空港第2ビル駅では、上記改札口の工事のほか、24人乗り大容量エレベーターの増設、天井の落下防止工事、コンコース通路の改修工事を実施しています。工事は2020年3月頃まで続く見通しです。

工事中はご利用のお客様にご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

以上